

## 商 況

(日本製鐵販賣旬報第 105~107 より抜萃)

## 昭和 13 年 2 月中鐵鋼關係日誌

1 日 本日入電歐洲輸出鋼材相場は次の如し。

(爲替 1/2-0 Cif Japan 船乗渡)

シンデケート公定相場 買附得べき實際相場 1月21日入電

Steel Bars Base £10-8-0 ¥180.75 £9-16-0 ¥170.46 £10-0-6 ¥174.32

Steel Angles Base 10-8-0 180.75 9-16-0 170.46 10-0-6 174.32

Steel plates Base 11-19-0 207.52 11-5-0 195.32 11-11-6 200.60

○歐洲シンデケートは日本向半製品の賣込に就てプール制を設け、獨逸製鋼を幹事として日本に於て各製造家共同賣込をなすことに決定せりと。

○米國鐵鋼協會調、今週の製鋼作業率は全能力の 30.5% と見積られ前週より 2.2% 減。

○米國商務省発表 昨年中米國鐵鋼類の輸出高は合計 3,472,000t、銑鐵は 782,000t、ブリキ 354,000t、鋼塊 333,000t、(1918 年以來の最高記録) レール 148,000t、ブラックシート 186,000t、鋼管 181,000t、鋼板 412,000t、屑鐵鋼は 4,094,000t その中日本は 1,901,000t、英國 £45,000t。

○衆議院豫算總會で廣田外相は我對支要求内容を次の如く答辯し、之を明にした。1. 將來かゝる事變のないことを保障するため一定の賠償を要求す。1. 賠償は如何なる政府が出来ても要求する。1. 賠償中に駐屯軍の經費をも包含す。

○外相は衆議院豫算總會で帝國は列國の對支新利權は認めざる旨言明す。

2 日 米國商務省 12 月中米國銑鐵輸出高 37,000t で前月より 11,000t 増。屑鐵は 319,000t で前月より 64,000t 増。

3 日 1 月中東京卸賣物價は長期作戰方針に基く尨大なる豫算を中心とするインフレ的色彩の濃化、輸入抑制の強化を主因とし政府の價格騰貴抑制策に拘らず尙續騰貴配を展開せんとしつゝある。鋼材は共販組合の建値引下と荷線良化で總じて 2 分方小緩んだ。

○今議會に提出さるべき北支重要産業の開發統制に當る統制會社設立に關する法律案及豫算案は大要次の如し。1. 名稱 北支産業開發株式會社(假稱)。1. 組織 日本に設置し、資本金 300,000,000 圓乃至 400,000,000 圓支那側は出資せず本會社によつて統制される子會社は北支各地に置き原則として日支合辦とす。1. 事業 北支に於ける交通、通信、鑛山、電氣、鹽の五事業を主として統制す。鐵道事業には滿鐵の資本と技術を入れ滿鐵のこの方面の進出を認む。1. 設立期 5, 6 月の頃の豫定。

○芝罘を占領す。

○獨逸國防相ブロンベルグ將軍の結婚問題は獨逸國防軍とナチ政府との對立を再び表面化せんとしつゝありと傳へらる

4 日 豫算第 1 分科會に於て外相は獨政府は對支武器輸出を禁止し、又滿洲國も必ず承認する方針と言明す。

○英國石炭船アルシラ號(1,387t) はバルセロナ東南 20 哩沖にてフランコ政府側飛行機 3 機により撃沈さる。

○廣東に突如戒嚴令布かれ虎門が封鎖さる。原因は第四路軍長兼廣東省綏靖主任たる余漢謀と廣東省主席たる吳鐵城の反目が廣東管區設立問題で發火點に達したものと見られてゐる。

5 日 米國は我政府に對し來る 20 日迄に倫敦條約に規定する主力艦 t 數制即ち 25,000t 以上のものを建造せず。又將來建造の意圖なき旨の保障を求め期限内に回答なき時は建造し、建造の意圖あるものと看做し倫敦條約のエスカレーター條項を發動すとの申入をなす。

○賀屋藏相は北支に於ける新發券中央銀行設立の大綱に關し次の如く發表す。名稱中國聯合準備銀行、資本金 50,000,000 圓、中半額は臨時政府にて(この出資に就ては正金、興銀、鮮銀が 12,500,000 圓を臨時政府に貸付の形式をとる)残り半額は中國、交通、中央、河北省の四銀行が出資す。新銀行は設立と共に新通貨を發行(差當り一般經濟活動資金と合せ約 300,000,000 圓)し舊通貨の回収を圖り爲替銀行の役割を有す。

○内閣統計局調 昨年 7 月を 100 とする全國主要 24 市平均 1 月中勞働者生計費指數は 104.4% で前月より 1 分 4 厘上昇 10 市平均給料者生計費指數は 104.2% で前月より 1 分 3 厘上昇を示す。

○ソ聯政府はシベリア沿線ウラヌ・ウデと外蒙國境キアフトを結ぶ 250km の鐵道建設に着手したりと。

7 日 ルクセンブルクに於ける昨年中の鐵鋼生産高は 7,750,000t と見積られ前年の 4,900,000t に比較し 6 割弱の飛躍的激增を示した。

○製鋼原料懇話會は本年度上半期の屑鐵手當に關し懇談をなしたる模様。

8 日 大阪伸鐵工業組合 2 月第 2 回賣出値段は全部前回の 10 圓下げと發表。

○本日入電の外註値段次の如し。(爲替 1/2-0)

Bars Base £9-16-0 ¥170.49 9mm £10-4-0 ¥177.18

Angle Base 9-16-0 ¥170.46 Joist 9-10-0 ¥165.19

Channel 10-0-0 ¥173.74 Channel 9x75x200 9-16-0 ¥170.46

Plate 3/16" or 1/4" 10-10-0 ¥182.32 " 1/8" 11-0-0 ¥190.87

" 3/8" 11-0-0 ¥190.87 " 1/2" 11-10-0 ¥199.44

Checked plate 11-1-6 ¥192.16

○棒鋼共販理事會開催 建値は据置。

○來月早々議會に提出さるべき中支特殊會社法案の内容は、名稱中支産業開發會社(假稱)北支同様の特殊會社としその下に所要の子會社を置く。資本金 100,000,000 圓。事業は主として電氣、水道、瓦斯、交通等の公共事業。事業地域は上海(外國租界は除く)蘇州、無錫、杭州、鎮江、南京、嘉興等の大都市及中支一帯とす。

9 日 形鋼及鋼板共販理事會開催建値は据置と決定。

○我軍は中支方面占領地域一帯の新支那政權の確立迄は此地

域一帯に存する敵産を軍事管理の下に置き必要なる緊急措置を講ずる事に決す。

10日 今週の米國製鋼作業率は全能力の30.7%と見積られ前週より0.2%増。USスチール會社は鐵鋼賃銀更改協定の延長を發表したが賃銀及價格問題に對する不安は未だ解消せず。

○帶鋼共販理事會開催建値は据置と決定。

○三菱重工業は生産力擴充資金として總額30,000,000圓の社債發行をなす事に決したが、從來の行き方と趣を異にして他系統資本の參加の途を開き、この爲に新に結成さるシンダケート團は三菱銀行、同信託、興銀、三井銀行、同信託安田、第一、第百の八行社に決定。

○衆議院では昭和13年度總豫算案は原案通り可決す。

11日 本日倫敦より入電の外註値段次の如し。(爲替 1/2-0)

	2,240lbs	1,000 kgs
Bars	£ 9-11-0	¥ 166.50
Angles (2" x 2" up)	9-11-0	166.50
I Beams	9- 9-0	164.78
Channels (inch size)	9- 9-0	164.78
Plates (1/4" and up)	10-15-0	187.05
Black sheets	22-15-0	379.70
Tin plates	2- 6-0	39.63

○1月中USスチール會社の鋼材引渡高は518,000tで前月より29,000tの増。

○1月中の英國銑鐵生産高761,000t、同鋼は1,081,000t、熔鑪數130基。

○米國鐵鋼協會發表 1月中米國銑鐵生産高は1,429(前月より50減)同鋼は1,732(前月より300増)(單位1,000t)

○政府並に貴衆兩院主催の憲法發布50年祝賀式典舉行さる

12日 帝國政府は英、米、佛の建艦通報を拒絶の旨回答及聲明を發す。

13日 京漢線方面の皇軍は淇縣、長垣を占領す。

14日 東京伸鐵工業組合2,3月渡第2回賣出値段は大阪伸鐵と同じく全部10圓下げと發表。

○米國商務省は12月中同國別屑鐵輸出高を次の如く發表す(單位1,000t)

總計319、内英國126、ポーランド及ダンチツヒ53、伊國43、オランダ33、カナダ21、日本9。

○1月中英國より日本へ輸出したブリキは340t。

○今週の製鋼作業率は全能力の31%と見積られ前週より0.3%の増。

○シンガポール乾ドック竣工式舉行さる。

15日 印度各州政府は過般來各州知事に對し政治犯人の釋放不干渉を要求したが之に應ぜざる爲對抗して總辭職を敢行す。

○米國産業審議會調 1937年12月中米國賃銀指數は91.5で同11月より4.7%の續減(1923年を100とす)

16日 本日日入電の外註値段次の如し。

1. New York (爲替 29-1/4)

	Base	2,240lbs	2,240 kgs
Bars	£ 54.32	¥ 18.88	
Angles	"	56.34	196.84
I Beams	"	52.19	182.56
Channels	"	53.20	186.03
Plates	"	51.86	181.42
Sheet Bars	"	38.35	134.92
Billets	"	38.35	134.92
Ingot	"	36.35	128.03

2. London (爲替 1/2-0)

	2,240lbs	1,000 kgs
No. 3 Pig Iron	£ 6-18-0	¥ 126.13
Bars	9- 4-6	167.93
Angles (2" x 2" up)	9- 2-0	158.79
I Beams	9- 5-0	161.36
Channels (inch size)	9- 5-6	161.36
Plates 1/4" and up	10-10-0	182.77
Black sheet	21-10-0	371.14
Tin plates	2- 6-0	39.63

○棒鋼、形鋼、鋼板三共販の東京側指定問屋は三問屋組合の創立總會を開催す。

○大阪伸鐵工業組合は最近の一般鐵鋼材使用制限による需要の減少、爲替管理の強行實施に由る伸鐵材料の輸入激減並に内地物材料の枯渴状態等の爲、公休日を毎日曜日とし、操業時間短縮の方法により、當分の間生産3割減を勵行する事と決定。

17日 米國の第2,4半期の鐵鋼相場の發表は各方面から期待されてゐたが、カーネギー・イリノイス會社は次の如く發表す  
1. コールド・ロール製品は据置。 1. コールド・ロール・シート相場は前週より100lbs 4弗に引下實施されたが之もその儘据置。獨立製鋼會社の大部分も之に追従して賣値は据置と發表す。

○大藏省議の決定を見た臨時軍事費追加豫算は總額4,850,000,000圓。

○鶴見製鐵造船は其持株新舊58,000株を新舊各1株1組129圓58錢で一般に公開することに決す。

18日 我海軍航空隊は重慶を初空襲し、敵14機を爆撃す。

○大本營陸軍部發表 新情勢に基く長期持久の作戰に即應し戦力の強化を圖らんが爲出動部隊の一部の交代整理を行ふ事とせられたり。

○閣議に於て國家總動員法案は一部修正削除し議會提出に決定。

19日 大本營陸軍部は皇軍の占據地域は北支約669,000平方軒、中支約70,000平方軒と發表。

20日 ヒトラー總統は獨逸國會に於て滿洲國の承認、日支紛争に關しては日本に精神的援助を與へる旨聲明を發した。

21日 イーデン英外相は對獨、伊策容れられず辭職し、後任はハリファックス卿任命さる。

○日鐵取締役會長平生鈺三郎氏は現職の儘北支方面軍經濟最高顧問に就任す。

○商工省は鐵鋼配給統制に關し各關係府縣係官會議を開催、配給の嚴正を期する爲の消費量調査を開始し併せて先ず地域別、品種別を適宜に接配して鐵鋼關係工業組合を設立する事となりたりと。

○今週の米國製鋼作業率は30.4%と見積られ前週より0.6%の減。

○大阪に於る棒鋼、形鋼、鋼板三共販指定問屋組合の常務理事は伊藤重義氏之に當り、常務理事は棒鋼問屋組合は大阪鋼材、井上、千葉、吉村、山本(東)。形鋼問屋組合は大阪鋼材、北島、井上、井村、深浦。鋼板問屋組合は大阪鋼材、北島、千葉、井村、田中と決定。

○USスチール製鋼會社及ベセル・ヘム製鋼會社の兩社は目下他の製鋼業者に對し半製品及鋼製品輸出組合規定を嚴守する様強要しつつあり、若し是が成功すれば値段は一率に

3, 4 弗値上げさるゝ見込にして不成功に終れば輸出組合理段は尠くも 2 弗以上値下げさるべしと。之は假令歐米協定するも米國のアウトサイダーありては協定實行不可能なる爲め先づ米國國內の統制に主要製造家が乗出したるものと見られてゐる。

- 22日 東京に於る鋼板共販の指定シャリング業者組合の理事長は市島伊三郎氏、常務理事は青柳シャヤ及横河シャヤと決定。大阪に於ては理事長は久保齊氏、常務理事は奥山路シャヤ、木本シャヤ、シャリング(木津川)大阪製鋸切斷工場と決定。
- 東京に於る棒鋼、形鋼、鋼板三共販の指定問屋組合の常務理事長は森岡秀三郎氏之に當り、常務理事は棒鋼問屋組合は森岡、入丸、岡谷、岸本、湯淺。形鋼問屋組合は森岡、入丸、岡谷、岸本、伊藤(宗)。鋼板問屋組合は森岡、入丸、岡谷、梅岡、木下と決定。
- 棒鋼及線材共販組合理事會開催 建値は据置と決定、尙棒鋼共販では引續き 3割減産を實施することに決定す。
- 1月の全國生計費指數は 199.0 で昨年12月より 0.8% の續騰。
- チェンバレン英首相は下院に於て國際聯盟否定の聲明を發す。

- 23日 形鋼、鋼板及帶鋼共販理事會開催 建値何れもは据置と決定。
- 名古屋に於る棒鋼、形鋼、鋼板三共販の指定問屋組合の常務理事長は北川榮次郎氏、常務理事は岡谷、伊藤(信)、石原と決定。
- ピツツバーク渡し 1級屑鐵の相場は前週の t 當 13 弗 75 仙乃至 14 弗 25 仙より 13 弗 50 仙乃至 14 弗丁度に引下げられた。
- 吉野商相は衆議院増稅委員會に於て現在の暴利取締令の運用及一般的價格政策の強化を圖る爲物價委員會の創設を言明す。
- 大本營陸軍部發表 上海方面最高指揮官松井大將、軍司令官朝香中將宮殿下、抗州灣上陸軍司令官柳川中將は交代歸還を命ぜられ加々大將新に同方面最高指揮官に親補せられたり

24日 本日倫敦より入電の外註値段次の如し。(爲替 1/2-0)

	2,240 lbs	1,000 kgs
Cleveland No. 3 Pig Iron	£ 6-18-0	120.13
Bars	9-4-6	160.93
Angles (2" x 2" up)	9-2-0	158.79
I Beams	9-5-0	161.36
Channels (inch size)	9-5-0	161.36
Plates (1/4" and up)	10-10-0	182.77
Black Sheets	19-10-0	336.91

- 國家總動員法案衆議院本會議に上程さる。
  - 25日 半製品及鋼管共販理事會開催 建値は据置と決定。
  - 昭和12年7月を 100 とする東京市の2月中労働者生計費指數は 105.9 で1月より1分1厘の上昇、同給料生活者は 105.4 で1月より1分の上昇。
  - 26日 東京伸鐵工業組合は 3, 4 月積賣出値段を据置乃至 10 圓下げと發表。
  - 獨逸鐵鋼協會發表 1 月中の獨逸鐵鋼出產高は左の如し。(單位 1,000 t)
- |   |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|
|   | 1 月   | 昨年12月 | 前年同期  |
| 銑 | 1,438 | 1,400 | 1,292 |
| 鋼 | 1,812 | 1,765 | 1,534 |

27日 北支及中支方面の對支行政事務の統合指導に當るべき新機

關設置に就て次の如く大綱發表さる。1. 名稱 對支經濟局  
1. 内閣直屬機關とす。1. 北支及中支に於る政治文化を除く經濟の指導監督のみを掌る。

- 28日 今週の米國製鋼作業率は全能力の 29.3% と見積られ前週より 1.1% の續減を示す。US スチール株 54 弗 8 分の 5
- 鋼材販賣聯合會は常務委員會を開き、鋼塊の生産統制組合設立に就き協議した結果、鋼材販賣聯合會の規約を改正し生産協定の一項目を挿入して其傘下に加盟 15 社によつて鋼塊組合を結成する事になりたりと。
- 英米商品價格指數は次の如し。英國は 1913 年 9 月 18 日を米國は 1931 年末を 100 とす。(英ロイター社調、米ムーデー社調)

英	本日 148.5	1月28日 148.2	昨年3月1日 185.2
米	同 151.2	同 149.8	同 210.1

2 月下旬爲替相場

區分 月日	對英 對米		區分 月日	對英 對米	
2. 21	1/2-0	29-1/4	2. 25	1/2-0	29-1/4
22	"	"	26	"	"
23	"	"	28	"	"
24	"	"			

大陸情況

英國に於ける鐵鋼商組合聯合會の成立 12月3日ロンドンに於て鐵鋼商の會合が催され、鐵商組合、鐵鋼配給業者組合、鋼商組合、輕軌條及アーチ商組合、ブリキ商組合、鋼片商組合の6組合は鐵鋼品の販賣並に配給に關する一元的統制を計らんが爲鐵鋼商組合聯合會を組織する事に決定せり。

亦他の鐵鋼商組合も、此の新組織へ參加して來る事は疑ひの無い所と見られてゐる。此の聯合會の主目的は、英國鐵鋼聯合會並に鐵鋼に關連を持って居る凡ての製造業者組合との協同に在るのである。ブルース・ガードナー氏が初代の會長となつたが、同氏は政府及鐵鋼界に知名の士である。

(1937. 12. 10 アイアン・エンド・コール・トレードレビュー誌)

英國鐵鋼界は1938年も繁榮を續けるであらう。1937年11月の製鋼高は 1,178,300 t と新記録を作るに至したが、此の調子で行くと年産 14,000,000 t となる。大戰當時の最高年産高は 9,750,000 t であつた。

10月との比は 44,700 t 増。曩の記録であつた9月の 1,163,000 t に比し尙ほ 15,300 t の増となつてゐる。

現在の好況は早晚終りを告げるであらうとの噂も、鐵鋼問題の權威者である鐵鋼會社協會のアレキサンダー・ウィリアムソン氏に依り否定されて居るのであるが、他にも繁榮は持續するであらうとの觀察を爲して居る者が多い。

ウィリアムソン氏は 1932 年イングリッシユ・スチール會社の役員を辭する迄の 25 年間をピツカース系に過ごし、其後現在のユナイテッド・スチール會社に關係してゐる人である。氏の云ふ所に依れば「工業界に於ける景氣は下降するであらうとの暗示は、吾々の經驗とは全く正反對である。現在の業界が配給に困難を感じて居るのは、好況に向ふ當初の配給難より以上である。亦現在の逼迫のみならず先々の契約を爲さんが爲にも忙がしきは増すのみとならう。兎に角吾々の感知する限りに於ては需要の減退は未だ其の兆を見せて居ない。」

業者の中將來に向て最も用心深い見解を持して居る人は南ダーハム鐵鋼會社の會長代理タルボット氏の意見は「現在に於ける鐵鋼

需要の増大が何時迄続くかを評価する事は無駄である。米國の經驗して居る事は吾々の良き指針である。即ち最近米國に於て行はれて居る驚ろくべき製鋼率の大縮減を、英國は根本的に米國と事情を異にして居るとは云へ見逃してはなるまい。現在の異常なる繁忙は、晩かれ早かれ後退するものである事を認識し、之が到来を緩和させるが爲には、業界の落ち着きを見る迄或る程度の鐵鋼品消費を節約するか、若くは後廻しにすべきである。

外國の安値賣りに對しては課税の方法に依り多少ではあるが、對抗し得るであらう。此のダンピングに依り 1931~1933 年の頃英國の鐵鋼界は大恐懼を蒙たものである。」

英國鐵鋼聯合會理事ウィリアム・ラーク氏は 12 月 14 日英帝國協會 (Royal Empire Society) の會合に於て、講演を爲し、英國鐵鋼業の將來に就きて可成詳細なる所見を述べたのであるが、要約すれば、1938 年の鐵鋼界には何等の暗影を見出し得ない。製造業者は常に 1 年分の作業を繼續するに充分なる手持注文を擁して居り、亦多くの消費者等も 1938 年中は大量の需要を持って居ると傳へられて居るので、供給方面に於ける改善と相俟て、將來は頗る好ましき展開を見せるであらう。

英國鐵鋼聯合會は原料の配給及製品の消費を圓滑ならしむる爲には最大の協力を爲すものである。斯くする事の唯一の目的は、業界の鞏固なる現状を維持し、雇傭問題に就ても賃銀と價格との關係が矛盾の無いものであり、能率的にして有利なる活動が行はれる事に依り、鐵鋼界の諸部門が密接なる連絡を保ち安寧である事にある。

英國鐵鋼業は價格の引上げを爲さんが爲には、單に生産原價の高騰ありたる場合のみに限り、關稅設定の結果として價格が引上げられる事無き様、保護關稅設定以前に特に強調し立案企畫せられたのであつた。

英國鐵鋼聯合會は此の點の實行に關し何等の疑問をも抱かなかつたので、義務規定を設けず、價格の變更が爲される前に獨立會計検査官に依て證明された代表的メーカーの生産原價を關稅諮問委員會へ提出する事に同意したのであつた。

乍然斯る方法に依て一般の利益が何の程度迄保護されるかを見定める事は頗る困難な問題である。

(1937・12・30 アイアン・エージ誌)

最近の白耳義商況 大陸カルテルと英國との聯合協議會は 1 月の第 1 週にロンドンで開かれたが、何等決定を見るに至らなかつた。次でパリに於ける 17 日からの會議にて、前號旬報にて報告の如くシンヂケート品種の値下げが決定され、取引は直ちに新値段にて爲されて居る。

海外の買手は未だ新値段を知らないのか、市場に現はれて來ないか、メーカー等は全般的に多少安堵の體である。それは過去數ヶ月間に互の注文減の原因は、カルテルは値下げをするであらうとの期待に在たのであるから、今回の如く値下げが實現したからには買手も今迄の如く日和見の態度を續け得ないであらうとの解釋に據るものである。

棒、山、形モノに付ての値引は可成大幅であつたから春季の需要は相當賑はふであらうと期待されて居る。

カルテル側の見解に依れば、今後春需要に對して値引を爲すかどうかの問題に就ては、全く考慮の餘地無しと云て居る。同時にカルテル今回の値下げは米國アウトサイダーの競争に對抗せんが爲であり、又ドユツセルドルフに於ける價格協定に調印せる米國業者等との了解を一層緊密にせんが爲である。復若し可能なれば進んで價格

以外の點に迄協調の實を擧げんとの意圖である。

斯る目的達成の爲カルテル及英國鐵鋼聯合會の代表は、1 月末渡米し主だつたアウトサイダー等と會談を爲す意嚮である。乍然米國鐵鋼界には商事的な統制組織が存在しないので、満足すべき協定を望むのは頗る困難であるが、何等かの收穫を得る様凡有る努力が爲されるであらう。

米國の競争は今後も値下げを行ふであらうから益々熾烈を加へるであらう。斯る安値賣りは過般のドユツセルドルフ會議に参加した米國業者か或は他のアウトサイダーの所爲か判然としない。米國業者は値引を行て居るのはアウトサイダーであると明して居るが歐洲のメーカー等は未だ釋然として居ない様である。

白耳義鐵鋼市場に於ける買手は依然當用買に終始して居り、市場を傾向着ける程の買氣は未だ現はれて居ない。引合は稍々多くなつたかの感あるも小口で、買手の態度は決してをらぬ様である。

白耳義に於ける製鋼工場や壓延工場の操業も尙減産を續けて居る。曩に輸出値段が引下げられてより國內向に對しても値下げが行はれるのでは無いかと云ふ期待が各方面に持たれて居るのは事實である。

國內消費筋の買控へも此の原因に據るのであらう。然しメーカー等は來る可き燃料費高を慮て國內向の値下げ問題を否定して居る。白耳義の炭坑労働者は現在 1 週 45 時間就業して居るが、42 時間制を要求して居るのである。

全般的に公道相場は維持されて居る様であるが、棒、山、板等に多少浮動してゐる。

棒、山に就て見れば白耳義再壓延業者は 1 月 20 日前後 5・0・0・5・2・0 (金) で賣て居たが月末は 4・18・0・5・0・0 位に引下げられて居るのである。業者の言分に依れば佛蘭西の競争に對抗する爲には已むを得ざる事であると。

鋼板の出來値を探ぐる事は一寸困難である。米國品の競争は尙影響して居るとの事である。

他方薄板は永い間の沈滞から漸く救はれた様であり稍々改まつて居る。

ブラツセル市況 (1 月 27 日)

銑 鐵 白耳義では 49 基の熔鑪爐が出銑して居り、製鋼用銑の日産は 11,900 にして、他に少量の鑄物銑へマタイト銑を出して居る。

引合は弗々多くなつて來て居り、相場も 1 月初めは製鋼用、鑄物用共に 4・0・0 (紙幣) FOB であつたが、現在は少しく強く 4・0・0・4・1・6 である。

へマタイト銑は 850 白耳義法を保合て居る。

半製品 日本より大口の引合が在たが、夫れに依り米國の競争の甚しさが感じられて居る。白耳義再壓延業者は、成品の値下げが爲されたのを理由として、國內向半製品の値下げを要求して居るのであるが、未だ決定に至て居ない。

棒、山 極東からの注文無く、印度からも極めて少く、南阿に於ては米國の競争が激しい。白耳義再壓延業者は 4・18・0・5・0・0 (金) FOB で賣て居る。

三番アイアンバー 一般輸出向は 7・10・0~7・15・0 (紙幣) FOB 英帝國向は輸出税込みの 9・0・0 FOB である。

形 鋼 相場はカルテルの新値段に依り維持されて居る。先週瑞典から引合が有たが、今週も弗々改善されて居る様である。

帶 鋼 國際帶鋼組合 (ホツトロールド物) は、向先に従ひ次記の如く値下げを發表せり。

## 5・5・0・5・10・0 (金磅) FOB

前回の建値は 6-10-0 であつたが、白耳義、佛蘭西のメーカー等は 5・10・0・5・15・0 で過去數週間賣り應じて居た。

荷造用帶鋼 (コールドロール) に就ては、昨年 9 月末白耳義、ルクセンブルグ、佛蘭西、獨逸の業者等に依り建値機關が設けられその決定は單なる紳士協約の性質を持つに過ぎなかつたのであるが 26 日遂にカルテル組織に強化された。

新國際冷壓帶鋼カルテルは直に輸出値段を 30 志(紙幣)引下げた。

厚中板 海外よりの註文少く、寧ろ歐洲の註文が多い様である。

薄板 今迄手控へて居た消費筋が弗々大口の註文を仕出したので、市場は廻りつゝある。

露西亞から  $\frac{1}{16}$ " 3,000t の引合があり、之は大いに期待されて居る。

値引も先週は 35~50 志(紙幣)であつたが、今週は 32 志 6 片から 35 志となつて居る。

亜鉛鐵板 メーカー等はカルテルの新建値を維持せんと努めて居るが、取引は至極閑散である。

最近の白耳義商況 市況は好轉しつゝあるとは未だ言へない。月末から 2 月初めに掛けての商内は乏しく、註文は愈々尠くなつて居る。斯る商況不振の因は屢報の如く米國は未だ未だ安値賣りを續けるであらうと、一般が期待して居るからである。

大陸カルテル及英國鐵鋼聯合會の代表は 2 月の初め米國に着く事となつてゐるが、米國業者等との競争緩和に就ての協議も、何の程度の効果を得るものであらうか、大した期待は持たれて居ない様である。

米國の競争はカルテルの値下げ後、却て激しく爲た様に感じられて居るが、一部の見解に依れば、夫れは當然在り得る事だと云て居る。即ち昨年 12 月 9 日ドュッセルドルフに於ける價格協定に参加した米國業者等は、當時のカルテル値段に就てのみ妥協をしたのであつて、今年 1 月 17 日のパリー會議にてカルテルが統制品種全般に互て値下げを爲した時には、米國側は参加して居なかつたのである。

大陸カルテル及英國の新値段は直ちに米國側に通じられ、米國側も新値段に歩調を合せて呉れるであらうと期待して居たのであつた而るに米國側は之に對して何等の回答を爲さず、競争は以前にも増して愈々熾烈と爲て來たのであつた。此等の安値賣りは大陸側と協商を爲しつゝある業者等に依るものか、或はアウトサイダー等に依るものか、今尙不詳であるが、何れにしても大陸業者等にとつては大きな悩みである。最近鋼板の大きな引合が數口有たが、是等の註文は皆米國側に持て行かれて了つた。

大陸と英國及米國に於ける協議の成行は間も無く明かにされるであらう。第一次の交渉は殆んど效果無きものと爲り、第二次の手段は前述の如く大陸及英國代表が渡り、難問とされて居る大協定を達成せんと努力をして居るのである。派遣された代表者等は皆一流の人物であるが、米國業者等が價格の保證を爲すかどうかは疑問である。亦若し價格が協定され輸出割當も決定されたとすれば、罰則規定も設けられねばならぬが、米國鐵鋼業が歐洲に於けるカルテル組織の斯る實際に、従ふかどうかは甚だ疑はしい。此等は主として米國アウトサイダーの態度に依て決せられるものである。兎に角鐵鋼市場はこの如き諸問題の方向に従て、間も無く目鼻が着けられるであらう。

ともあれ歐洲鐵鋼市場に於て、買手が市場に現はれて來ない理由

の一は、米國との協定の結果を待て居るのであるとされてゐるが今一の理由は、曩に行はれたカルテルの値下げは未だ充分なものでは無かつたと言はれて居り、白耳義、佛蘭西の一部メーカー等でさへ此の意見を持つて居るとのことである。

言ひ換へれば、値下げが行はれたにも拘らず、現在の價格は尙ほ高過ぎると見られて居り、大口の買手は安心して發註する迄に至て居ない。

事實需要は在るらしいが一向市場には姿を現はさない。カルテルが將來再び値下げをするか、若しくは彼等が買ひ得る程度の値引を行へば、夫等は可成の註文となつて現はれるであらう。

黑板に付ては再び激しい値引が行はれ出した。小口には普通 50 志(紙幣)の値引であるが、大口契約には 60-70 志引で賣られて居る。

勿論之等の値引は米國品に對する競争値段であり、他品種に付ては米國鐵鋼業との了解の成否決定迄現行値段が維持されるであらうこの如き商況を見るにつけ考へられるのは、曩の値引が當を得なかつたと云ふ點である。即ち四圍の情況が判然たらざる中に行はれた爲、市場へ充分なる活氣を與へ得なかつた譯である。

白耳義共販の 1 月中受註高は 98,000t となつて居る。

	1938年 1月	1937年 12月
米 製 品	41,000	31,000 (單位 t)
形 鋼	6,000	4,000
棒 山	27,000	20,300
厚 中 板	10,000	19,890
溝 板	14,000	9,500
計	98,000	84,600

之に見る如く 1 月は昨年 12 月より 14,000t の受註増となつてゐる。此の中 10,000t 増は半製品から來て居り、棒、山 7,000t、薄板 4,500t と夫々増加して居るが、反對に厚中板は約 10,000t の受註減を示して居る。

ブラッセル市況 (2 月 3 日)

銑 鐵 今週の市況は非常に弱く、製鋼用、鑄物用共に 5 志(紙幣)安で、遂に 4 磅臺を割るに至り、ヘマタイト銑も 50 白耳義法安となつてゐる。

	今 週	先 週
鑄物用 3 號銑	3-15-0	4-1-0(紙幣磅)
製 鋼 用 銑	3-15-0	4-0-0( " )
ヘマタイト銑	800'00	850'00(白耳義法)

之は毎々述べるが如く、佛蘭西の安値賣りに依るものである。

半製品 先週英國から第 2 回目の引取隨意註文 37,500t が來たとの噂であつたが、それは事實であつた。

成 品 市場に於ける實相場は再び不安定なものとなりつゝある棒、山 或市場へ向けられた物に付ては 4-7 志(金) CIF の値引が爲されたと報ぜられてゐる。

白耳義再壓延業者等は今日迄の處では値引をして居ない様であり相場も 5-0-0 (金) を保合てゐる。

形 鋼 此の品種に限り未だ値引が行はれず、建値が維持されて居る。

帶 鋼 チューブ用ストリップ及帶鋼の國際カルテルは向後 5 ケ年間存続と決定された。

三番アイアンバー 英國からの註文は今週に這入てから皆無の狀態である。一般輸出向の相場は前週と變らず、サイズに依り異なるも 7・10・0・7・15・0 (紙幣) FOB である。

厚中板 最近大口の註文を米國側に取られた爲メーカー等は大きい恐慌を來して居る。米國品は大陸側よりも 10 志(金)からの安値であると、從て相場も弱く 6-8 志(金)の値引が行はれて居る

様である。

薄板 先週稍々好調を思はせた此の品種も、今週になつて急落を演じ、1月17日カルテルのバー会議に於て30志(紙幣)の公定値引が爲されたにも拘らず、現在は既に50-60志の値引が行はれて居り、大口に對しては70志からの値引が行はれて居る。

亜鉛鍍板 市場は比較的穩健な商狀を續けて居り、5-10志(紙幣)の値引も極く例外的に爲されて居る様である。

**ブラツセル通信**

(1月20日) 其後當地市況は大なる變化なきも幾分好轉輸出商談ポツポツ始まり申候。巴里に於ける17日の Joint coordinating Committee 協議會は米國競争に對抗すべき輸出協定値段引下を決議致し候。

棒鋼, アングル等	15 金志下げ
型鋼	10 金志下げ
厚板	20 金志下げ

引下は一般的なるも英領各地バルカン地方の數ヶ國及北米向は例外と致候。尙極東向は成品 20 金志引下の由。

此引下は即時實行、期間は3月末迄とす。4月以降は5志上となる筈。尙同日(17日)ブラツセルに各國冷却歴業者協議會開かれ國際共販機關結成の相談ありたれども割當量値段等の點につき主として佛國代表の同意六かしく話は纏まらず散會と相成申候。

自耳義 Cosibel 契約量次の通り。

1月8日迄	40,000t (内 30,000t 輸出向)
1月17日迄	61,000t (内 43,500t 輸出向)

輸出向は主として英國向半製品。

輸出向竝に内地向新協定値段次の通り。

	Export	Inland
Bars	£ 5- 5-0	fr. 1,100'00
Angles	4-18-0	1,100'00
Hoops	6-10-0	1,550'00
Wire rods	5- 2-6	1,200'00
Blooms	5- 5-6	900'00
Billettes	5- 7-6	960'00
Sheet bars	5- 8-6	1,095'00
Plates 3/8"	6- 2-6	
" 1/2"	6-13-0	

(1月28日 發信) 市況は新値段發表に拘らず買氣を啖らず手當はホンノ當用口に限られ居候。一般に本年6月末カルテル満期更改の新形勢見極めの附く迄買控へ居るならんと申居候。内地市況も輸出向に連れて弱氣なれども、尙輸出カルテル値段に比し約200法(1當り)安に當り且つ原料勞銀共益々格高となる傾向あればこれ以上の値下はなきことに信じられ居候。

半製品市況は英國筋の需要莫大なるため獨り活氣に満ち居候。

昨1937年度歐洲鐵鋼產量(概算, 單位 1,000t)

鉄 鋼			鐵 塊		
歐洲	產 額		歐洲	產 額	
歐洲	59,000		歐洲	74,400	
世界	104,600		世界	136,100	
獨逸	15,900		獨逸	19,800	
佛 蘭 西	7,900		佛 蘭 西	7,850	
英 國	8,800		英 國	13,400	
白 耳 義	3,900		白 耳 義	3,900	
ルクセムブルグ	2,350		ルクセムブルグ	2,550	
致 須	1,650		致 須	2,300	
波 蘭	700		波 蘭	1,400	
蘇 聯	14,600		蘇 聯	17,400	
伊 太 利	750		伊 太 利	2,100	
瑞 典	650		瑞 典	1,150	
奧 太 利	400		奧 太 利	630	
匈 牙 利	350		匈 牙 利	600	
其 他	1,050		其 他	1,270	

(2月4日 發信) 市況は前報以來變りなく公定相場引下發表も一向效なく一般需要筋は來る6月末のカルテル更改條件確報ある迄買控へストックを出来るだけ減量せしめる方針と存ぜられ候。

帶鋼國際カルテルは他に先じて7月以降の新組織結成を發表致候國際冷却處理帶鋼製造業組合は未だ結成を見るに至らず、來る8日再び當地に協議會を開き、條件細目の討議を繼續する由に候。

1月中 Cosibel 契約量 98,000t, 12月中 84,500t に比し13,500t の増量に御座候。

半製品市況は不相變活氣に満ち英國筋の買氣更らに衰えを見せず候。

東京大阪市中相場表

東大  
京阪

2月8日

2月18日

2月28日

備考 單位 100kg (置き) (置場値段) 但し薄板は一枚當り、線材は吨當り、ブリキは一函當り。

		2月8日		2月18日		2月28日	2月26日
		東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
丸鋼	6mm	24'00	25'30	24'00	24'80	23'50	23'50
	9	24'50	24'20	"	23'70	24'00	22'50
	12	"	24'40	"	24'00	23'50	23'00
	19	22'00	22'20	21'50	21'70	21'00	21'00
	25	"	"	"	21'50	"	20'90
	50	29'50	32'00	29'00	32'00	29'00	32'00
	65	30'00	"	30'00	33'50	30'00	33'50
	130	35'00	37'00	35'00	"	36'00	"
	150	36'00	"	36'00	"	38'00	"
	200	38'00	30'00	38'00	"	"	"
角鋼	9mm	26'00	26'00	26'00	25'40	25'50	25'00
	12	26'50	26'50	"	26'00	"	25'00
	16	26'00	24'50	25'50	24'00	25'00	23'00
	19	"	"	"	23'50	"	"
	38	29'50	28'00	29'00	28'00	29'00	28'20
	50	30'00	33'00	30'00	33'00	30'00	33'00
	65	"	34'00	"	"	"	"
	100	"	"	"	"	"	"
平鋼	3×25mm	26'70	26'40	25'70	25'40	25'50	25'00
	9×19	26'50	26'80	"	25'50	24'70	"
	6×25	"	26'00	"	"	"	"
	6×38	24'50	25'00	23'70	24'80	23'00	24'50
	6×50	"	"	"	"	"	"
	6×75	26'00	25'50	26'00	25'20	26'00	25'00
	9×100	"	"	25'00	"	25'00	"
	12×100	"	"	"	"	"	"
等邊山形鋼	3×20×20mm	37'50	36'50	36'50	36'00	35'50	35'00
	3×25×25	36'00	34'50	35'00	34'00	34'00	33'00
	5×40×40	26'50	30'00	26'50	30'00	26'00	24'00
	6×45×45	23'50	24'00	23'50	23'00	22'50	22'00
	6×50×50	25'00	"	24'00	24'50	"	23'00
	6×65×65	21'50	23'00	20'50	22'50	20'00	21'00
	9×75×75	"	"	"	"	"	"
	9×130×130	28'00	28'00	28'00	27'00	27'00	30'00
	12×130×130	"	"	"	"	"	"
15×150×150	"	"	"	"	"	"	
不等邊山形鋼	9×50×75mm	26'50	27'00	26'50	26'50	26'00	26'00
	10×75×100	25'00	26'30	25'00	25'50	24'00	25'00
	10×90×125	"	"	"	"	"	"
	9×100×150	28'00	28'00	28'00	27'00	27'00	30'00
溝形鋼	12×100×150	"	"	"	"	"	"
	5×50×100mm	30'00	30'00	30'00	30'00	30'00	30'00
	6×65×125	"	"	"	"	"	"
	6'5×75×150	"	"	"	"	"	"
	7'5×80×200	"	"	"	"	"	"
工形鋼	9×90×250	"	"	"	"	"	"
	10×90×300	"	"	"	"	"	"
	5'5×75×150mm	30'00	30'00	30'00	30'00	30'00	30'00
	7×100×200	"	"	"	"	"	"
	10×125×250	"	"	"	"	"	"
鋼板	8×150×300	"	"	"	"	"	"
	12×150×350	"	"	"	"	"	"
	1'6mm×3×6	28'00	28'50	27'50	28'00	27'00	27'00
	1'6×4×8	"	31'00	28'00	29'00	27'50	28'00
	1'6×5×10	35'00	"	35'00	30'00	35'00	30'00
	2'3×3×6	31'00	"	31'00	31'00	31'00	31'00
	2'3×4×8	33'00	"	33'00	"	33'00	"
	2'3×5×10	35'00	"	35'00	"	35'00	"
	3'2×3×6	30'00	"	30'00	33'00	30'00	33'00
	3'2×4×8	"	"	"	"	"	"
	3'2×5×10	"	"	"	"	"	"
	4'5×3×6	"	"	"	31'80	"	31'00
	4'5×4×8	"	"	"	"	"	"
4'5×5×10	"	"	"	"	"	"	
6'0×4×8	"	"	"	32'00	"	"	
6'0×5×10	"	"	"	31'00	29'50	"	
9'0×4×8	26'80	27'00	26'50	27'00	26'50	26'00	
9'0×5×10	"	"	"	"	"	25'00	
12×4×8	"	"	"	"	"	"	
薄鋼板 (13枚)	川崎	'94	'93	'94	'94	'94	'93
	八幡	"	"	"	"	"	"
ブリキ	英	170 <sup>2bs</sup>	41'00	41'00	41'00	40'00	41'00
	200	42'50	42'50	42'50	42'50	41'00	42'50
	170	40'50	40'50	40'50	40'50	39'50	40'50
	200	42'00	42'00	42'00	42'00	40'00	42'00
	170	39'50	39'80	39'50	39'00	39'00	39'00
	200	40'50	40'50	40'50	40'00	40'00	40'00
八幡	"	"	"	"	"	"	
W. W	200 薄口	40'50	40'00	40'50	40'00	40'00	39'00
線材	B. W. G. #5	215'00	225'00	215'00	225'00	210'00	230'00

昭和13年2月中發表各種先物建値表

所屬別	區分 種類	建値月日	積 月				備 考		
			2,3月積	3,4月積	3月積	4月積			
棒鋼 共販	小形 （丸角平）	2-22				185	据 置		
		〃				200			
	中形 （丸角平）	〃				200			
		〃				210			
形鋼 共販	小形山形鋼	2-23				195	据 置		
		〃				190			
	中形山形鋼	〃				200			
		〃				200			
	大形山形鋼	〃				205			
		〃				210			
	中形溝工	〃				210			
		〃				210			
鋼板 共販	小形 耳付	2-23				185	据 置		
		〃				190			
		〃				190			
		〃				—			
	大形	〃				195			
		〃				200			
		〃				—			
		〃				—			
	定尺	〃				215			
		〃				220			
		〃				220			
		〃				225			
線材 共販	5.5mm	2-22		190			据 置		
	6mm	〃		188					
	太熔 低半	番接 (7~13mm) 炭素 硬鋼	〃		220				
			〃		245				
	硬電 含鎧	信線	鋼線	〃		230			
				〃		240			
	帶鋼 共販	0.9~1mm	厚さ 幅	19~24um	285				据 置
				25~35	275				
				36~85	260				
				86~105	270				
1.1~1.3mm		厚さ 幅	19~24mm	280					
			25~35	265					
			36~49	255					
			50~121	250					
1.4~2mm		厚さ 幅	122~150	255					
			19~24mm	270					
	25~35		255						
	36~49		250						
2.1~2.5mm	厚さ 幅	50~121	245						
		122~150	250						
		151~170	255						
		25~35mm	255						
2.6~3mm	厚さ 幅	36~49	250						
		50~121	240						
		122~150	245						
		151~170	250						
半製品 共販	鋼鋼 スシ テ	塊片 ムバ ー	2-25		150		据 置		
			〃		165				
			〃		165				
			〃		170				
			〃		180				